

福井工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	経済学		
科目基礎情報							
科目番号	0146	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	物質工学科	対象学年	5				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	プリント配布						
担当教員	廣重 準四郎						
到達目標							
資本主義の発展過程や外国経済の動向に深い関心を持つことができ、与えられた課題を着実にこなしながら、聞き取りやすい口頭報告と質問に対する的確な回答ができること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	資本主義の発展過程や外国経済の動向に極めて深い関心を持つことができる。	資本主義の発展過程や外国経済の動向にある程度深い関心を持つことができる。	資本主義の発展過程や外国経済の動向に深い関心を持つことができない。				
評価項目2	与えられた課題を極めて着実にこなすことができる。	与えられた課題をある程度着実にこなすことができる。	与えられた課題を着実にこなすことができない。				
評価項目3	聞き取りやすい口頭報告と質問に対する的確な回答が十分にできる。	聞き取りやすい口頭報告と質問に対する的確な回答がある程度できる。	聞き取りやすい口頭報告と質問に対する的確な回答がほとんどできない。				
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RA1 JABEE JA1							
教育方法等							
概要	イギリスの事例に則しながら 資本主義という経済システムの成立過程を理解する。						
授業の進め方・方法	イギリス経済史に関する英語の論文を訳読し、その内容に関して受講者が作成したレジュメにもとづいた議論をゼミナール形式で行う。						
注意点	初回の授業で伝えた「受講に際しての注意事項」を厳守すること。 成績評価は、中間確認試験得点 (20%)、期末試験得点 (20%)、レジュメ・プレゼン評価 (20%)、訳読ノート評価 (40%) の合計により行う。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	イントロダクション	訳読の仕方とレジュメの作成法が理解できる。			
		2週	Agricultural Revolution? England,1540-1850(1)	論文の訳読ができる。			
		3週	Agricultural Revolution? England,1540-1850(2)	論文の訳読ができる。			
		4週	Agricultural Revolution? England,1540-1850(3)	論文の訳読ができる。			
		5週	報告と議論	レジュメに基づいた報告と質問への対応ができる。			
		6週	The Industrial Revolution : Economic Growth in Britain,1700-1860(1)	論文の訳読ができる。			
		7週	The Industrial Revolution : Economic Growth in Britain,1700-1860(2)	論文の訳読ができる。			
		8週	中間確認試験				
	4thQ	9週	The Industrial Revolution : Economic Growth in Britain,1700-1860(3)	論文の訳読ができる。			
		10週	報告と議論	レジュメに基づいた報告と質問への対応ができる。			
		11週	Population Growth : England,1680-1820(1)	論文の訳読ができる。			
		12週	Population Growth : England,1680-1820(2)	論文の訳読ができる。			
		13週	Population Growth : England,1680-1820(3)	論文の訳読ができる。			
		14週	Population Growth : England,1680-1820(4)	論文の訳読ができる。			
		15週	報告と議論	レジュメに基づいた報告と質問への対応ができる。			
		16週	後期期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3		
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	20	0	0	0	40	100
基礎的能力	40	20	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0